

主要施策名:(3)循環型社会の形成

事務事業本数:4

基本目標(章)	主要施策(節)	施策区分	事務事業コード	事務事業	所管課
①自然と暮らしを守るふるさとづくり	(3)循環型社会の形成	(1)ごみ分別収集の推進	131-1	一般廃棄物適正処理事業	環境整備課
		(2)循環型社会システムの構築	132-1	ごみリサイクル・減量化事業	環境整備課
			130-1	旧焼却場等跡地水環境整備事業	環境整備課
			130-2	し尿処理施設等管理運営事業	環境整備課

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	一般廃棄物適正処理事業		所管課 【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	塚本昭広
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり		
	主要施策(節)	(3)循環型社会の形成		
	施策区分	(1)ごみ分別収集の推進		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【		年度予定	金額 0千円】
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【		玉名市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例	
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業			
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 4 項 2 目 2 細目 1

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	市内から排出される一般廃棄物の分別・収集・運搬・再生・処分等は市の責務とされている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、事業者、家庭からの一般廃棄物、事業系一般廃棄物、不法投棄された一般廃棄物
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	市民が安心して家庭からの廃棄物を排出できるよう廃棄物収集業者等と密に連絡を取り合いながら適正な処理を行い、また、不法投棄等をさせないよう啓発等に努め市内の環境の整備を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	<p>・家庭からの廃棄物の収集運搬について廃棄物処理業者に対し委託を行う。また、収集や分別に関し助言、協議を行う。</p> <p>・不法投棄に対し、市内を分割し各廃棄物処理業者に地区巡回や回収を委託する。</p> <p>・不法投棄に対し、投棄された地権者等に対し助言や指導を行い不法投棄等されにくい環境づくりを行う。</p> <p>・事業所から排出されるごみについて、収集運搬を行う廃棄物処理業者に対し、市内での活動に対し許可を与える。</p>
	<p>【15】 事務事業を構成する細事業(5)本</p> <p>⇒</p> <p>① 廃棄物収集運搬委託業務</p> <p>② 不法投棄処理委託業務</p> <p>③ 不法投棄対策事業</p>

《事務事業実施に係るコスト》

			H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	63,752	67,837	73,017	72,977	0
		一般財源	93,684	86,380	81,017	81,905	0
		【16】 小計	157,436	154,217	154,034	154,882	0
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0	
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.58	0.25	0.47	0.47	
		職員の年間平均給与(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
【17】 小計		3,405	1,481	2,785	2,785		
合計			160,841	155,698	156,819	157,667	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 廃棄物収集運搬委託業務	委託業者により家庭ごみの収集・運搬を行う。	収集運搬日数	日	252	248	250	248
② 不法投棄処理委託業務	委託業者6社により不法投棄物の巡回と回収を行う。	巡回日数	日	142	145	144	144
③ 不法投棄対策事業	不法投棄防止のため相談・巡回・看板設置等を行う。	看板設置数	日	50	34	17	20

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
	対象(市民)	68060	67577	67242	66850
投入コスト合計(千円)	160,841	155,698	156,819	157,667	
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	2	2	
コスト評価(対前年比)	***	102.57%	(↑)	98.79%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 不法投棄回収量	委託業者6社による不法投棄ごみの回収量	t	3.39	4.54	2	2
			1.1	1.98	2.35	
2 家庭ごみ収集運搬量	年間に収集運搬した家庭ごみの量	t	16780	16780	16750	17000
			16785	16780	17207	

* 成果未達成時の理由 熊本地震等の影響により全体の廃棄物量が増加したと考えられる。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要があるが薄い <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由() 【24】	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	家庭ごみの排出量に極端な増加は見られないため、今後もごみの減量化に向け、生ごみの水切り等の推進、分別徹底など住民へ根気よく啓発活動を継続する。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	今後も引き続きごみ減量化に向け分別の徹底等を根気強く啓発活動を行っていく。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	一般廃棄物の収集運搬については、廃棄物処理実施計画に基づき、市民が安心して家庭からの廃棄物を排出できるよう廃棄物収集業者等と連絡を取り合いながら適正な処理を行う。また、不法投棄等をさせないよう啓発等に努めると共に、パトロールを委託し不法投棄の防止を継続して行う必要がある。	評価責任者 平川伸治
-------------------	--	---------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	ごみリサイクル・減量化事業		所管課 【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	塚本昭広
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり		
	主要施策(節)	(3)循環型社会の形成		
	施策区分	(2)循環型社会システムの構築		
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】			
	<input checked="" type="checkbox"/> 法令・県・市条例等【 玉名市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例 】			
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 款 4 項 2 目 2 細目 2			

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済活動により、廃棄物は増加の一途をたどり、埋め立て最終処分場をはじめとする廃棄物処理施設の不足やごみ処理費の増加、不法投棄による環境破壊など様々な問題が生じている。このため従来の経済活動やライフスタイルを見直し循環型社会の実現を図ることが急務となっている。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、事業者、家庭からの一般廃棄物、事業系一般廃棄物
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	廃棄物の3R(排出抑制・再利用・再生利用)など適正な処分を推進することにより、ごみの減量化や、環境への負荷が少ない循環型社会の実現を目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】		
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【		
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【		
事務事業の具体的内容 【14】	・ダイオキシン抑制など環境にやさしい指定ごみ袋や市民が利用しやすいごみ収集カレンダーを作成する。 ・ごみの減量化のため家庭用電気生ごみ処理機やコンポストの購入を推進するために、購入費に対し2分の1又は上限3万円の補助金を交付する。 ・ごみの分別等に関する電話相談・現場立合い・分別指導・啓発を行う。 ・区からのごみ集積場所の新設・移動・廃止などの申し出に対応する。	⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(7)本 ① ごみ袋作成委託業務 ② 生ごみ処理機等購入費補助事業 ③ ごみ収集カレンダー等作成業務

《事務事業実施に係るコスト》

			H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
投入コスト	事業費 (千円)	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	51,701	60,115	60,217	67,368	0
		【16】 小 計	51,701	60,115	60,217	67,368	0
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)			0	0	0	0
	職人 員件 の費	職員人工数	0.60	0.22	0.44	0.44	
		職員の年間平均給与(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925	
		【17】 小 計	3,523	1,304	2,607	2,607	
合 計			55,224	61,419	62,824	69,975	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① ゴミ袋作成委託業務	ゴミ袋を委託により作成し、商工会議所等に販売を委託する。	ゴミ袋作成枚数	千枚	2825	3526	3298	3396
② 生ゴミ処理機等購入費補助事業	生ゴミ処理機やコンポスの購入等に対し補助金を交付する。	補助金交付件数	件	46	45	33	25
③ ゴミ収集カレンダー等作成業務	ゴミ収集カレンダー等を委託により作成し各世帯に配布する。	ゴミ収集カレンダー作成部数	部	32200	33100	33100	33100

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算
	対象(市民)	68060	67577	67242	66850
投入コスト合計(千円)	55,224	61,419	62,824	69,975	
対象1単位あたりのコスト(千円)	1	1	1	1	
コスト評価(対前年比)	***	89.28%	(↓)	97.28%	(↓)
				89.26%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 ゴミ資源化率	資源ゴミ収集量/ゴミの全体収集量	%	10	11	10	10
2			11	9.7	7	

* 成果未達成時の理由 可燃ゴミ、不燃ゴミ等の収集量の微増に対し、資源ゴミの収集量は、地区単位、行政区単位のコンテナ収集及び廃棄物業者の車面による自主回収が頻繁に行われたことにより減少し資源化率が減少したと考えられる。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> ・市が実施するよう法令で義務づけられている	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input checked="" type="checkbox"/> ・法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす	
	<input type="checkbox"/> ・市が事業へ関与する必要があるが薄い	
	<input type="checkbox"/> ・対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている	
	<input type="checkbox"/> ・利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる	
	<input type="checkbox"/> ・現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	
	<input type="checkbox"/> ・事業開始当初の目的から変化してきている	
	<input type="checkbox"/> ・厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	
効率性 【22】	<input type="checkbox"/> ・コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している	効率性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	<input type="checkbox"/> ・直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい	
	<input type="checkbox"/> ・民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である	
	<input type="checkbox"/> ・電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある	
	<input type="checkbox"/> ・サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない	
	<input type="checkbox"/> ・現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある	
有効性 【23】	<input checked="" type="checkbox"/> ・成果指標を設定している	有効性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い c
	<input type="checkbox"/> ・成果指標の目標値を達成した	
	<input type="checkbox"/> ・現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない	
	<input type="checkbox"/> ・手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる	
	<input type="checkbox"/> ・法定事務であり成果は求めにくい	
	<input type="checkbox"/> ・事業について積極的にHPや広報等で情報提供している	
	<input type="checkbox"/> ・事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している	
	<input type="checkbox"/> ・国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある	
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者負担がある ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> ・金額が妥当 <input type="checkbox"/> ・金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】	【24】
	<input type="checkbox"/> ・受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> ・設定できる <input type="checkbox"/> ・設定できない理由()	

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	ゴミの量が若干増加していることから、市民が理解しやすいゴミ出しカレンダー等でゴミ分別の意識啓発で根気よく継続し、循環型社会形成の構築に向けて事業を行う。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	<input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止			
	ゴミの量が微増を続けていることから、市民へのごみ分別の意識啓発を根気強く継続し、ごみ減量化と循環型社会形成の構築を図る。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	循環型社会を実現するために、ゴミ出しカレンダーや啓発チラシ等を配布しごみの減量化や分別意識の徹底を継続して行う必要がある。	評価責任者 平川伸治
-------------------	---	---------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	旧焼却場等跡地水環境整備事業		所管課 【2】	環境整備課	
			評価者(担当者)	塚本昭広	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり			重点 施策 【4】
	主要施策(節)	(3)循環型社会の形成			
	施策区分				<input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 廃棄物処理法、玉名市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし				
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【 】		款	4	項
				2	目
					細目
					3

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	合併前の旧市町の焼却場及び最終処分場跡地については、既に解体・跡地整備が完了しているが、これまで廃棄物処理場であったことから、汚水等が周辺に流れ出していないか等監視を続けていかなければならない。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、旧玉名市クリーンセンター最終処分場汚水管理室、旧玉名市・旧横島町・旧天水町焼却場跡地
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	年間を通じて、最終処分場跡地の汚水処理施設の管理や周辺地下水等の水質検査を行うことにより、焼却場跡地周辺の水環境の整備を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】				
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】				
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【 】				
事務事業の具体的内容 【14】	・旧玉名市クリーンセンター最終処分場跡地の汚水管理室の運転管理委託を行う。 ・旧玉名市、横島町、天水町の焼却場跡地及び周辺の地下水の水質検査を行う。			⇒	【15】 事務事業を構成する細事業(3)本
					① 旧クリーンセンター汚水処理室運転管理業務
					② 旧焼却場等地下水水質検査業務
					③ 旧焼却場施設等修繕業務

《事務事業実施に係るコスト》

投入コスト	H27年度決算		H28年度決算		H29年度決算		H30年度予算		全体計画	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
事業費 (千円)	国庫支出金		0		0		0		0	
	県支出金		0		0		0		0	
	起債		0		0		0		0	
	受益者負担		0		0		0		0	
	その他		0		0		0		0	
	一般財源		7,068		8,074		7,632		8,294	
【16】 小 計		7,068		8,074		7,632		8,294		0
[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)		0		0		0		0		
職人 員 件 の 費	職員人工数		0.13		0.04		0.04		0.04	
	職員の年間平均給与額(千円)		5,871		5,925		5,925		5,925	
	【17】 小 計		763		237		237		237	
合 計		7,831		8,311		7,869		8,531		

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 旧クリーンセンター汚水処理室運転管理業務	委託業者により汚水処理室の運転管理業務を行う。	機器点検回数	回	52	52	52	52
② 旧焼却場等地下水水質検査業務	旧焼却場跡地で採取した地下水等を検査する。	水質検査等回数	回	33	33	33	33
③ 旧焼却場施設等修繕業務	旧焼却場施設等の修繕を行い適切な維持管理を行う。	施設修繕回数	回	1	4	4	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算		
	対象(市民)	68060	67577	67424	66850		
投入コスト合計(千円)	7,831	8,311	7,869	8,531			
対象1単位あたりのコスト(千円)	0	0	0	0			
コスト評価(対前年比)	***	93.55%	(↓)	105.38%	(↑)	91.46%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 水質検査異常率	結果異常/検査回数×100	%	0	0	0	0
2						
* 成果未達成時の理由						

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要があるが薄い <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input checked="" type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる ・負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由() 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	廃棄物処理法に基づく定期的な水質検査や汚水の適切な処理を行い、周辺環境や水環境を整備する必要がある。			
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	<input type="checkbox"/> 縮小して継続	総合判定 A
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	廃棄物処理法に基づく定期的な水質検査や汚水の適切な処理を行い、周辺環境に旧処理場から排出する汚水等に含まれる有害物質の影響を及ぼさないよう現在休止中の最終処分場が廃止されるまで水環境を整備する必要がある。			

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	廃棄物処理法に基づき、最終処分場跡地の汚水処理施設の管理や周辺地下水等の水質検査を行うことにより、焼却場跡地周辺の水環境の整備を図る必要がある。	評価責任者 平川伸治
-------------------	--	---------------

事務ふりかえりシート

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	し尿処理施設等管理運営事業		所管課 【2】	環境整備課
			評価者(担当者)	塚本昭広
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	①自然と暮らしを守るふるさとづくり		
	主要施策(節)	(3)循環型社会の形成		
	施策区分			重点 施策 【4】 <input type="checkbox"/> 該当
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 年度予定 : 金額 0 千円】 <input checked="" type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 玉名市廃棄物の処理及び清掃並びに浄化槽に関する条例 】 <input type="checkbox"/> その他の計画【 】 <input type="checkbox"/> 該当なし			
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input checked="" type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務			
会計区分 【7】	■ 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款 4 項 2 目 3 細目 1

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	下水道や農業集落排水の普及により、し尿・浄化槽汚泥の排出量は減ってきてはいるが、まだ未整備地区等も多く、合併浄化槽等により排出されるし尿や浄化槽汚泥を適切に処理する施設が必要である。
対象 (誰、何に対して、受益者等) 【9】	市民、し尿、浄化槽汚泥
意図 (どのような状態にしたいか) 【10】	し尿や浄化槽汚泥について、遅滞なく処理するために施設を適正に管理し、衛生環境の整備を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H17 年度から】 【 年度～ 年度まで】	
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【 】	
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託・請負 <input type="checkbox"/> 一部委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input checked="" type="checkbox"/> その他【 負担金 】	
事務事業の具体的内容 【14】	・委託業者により「水の守」の運転と管理業務を行う。 ・委託業者により市内4カ所の公衆便所の管理業務を行う。 ・一般廃棄物処理(し尿)・浄化槽清掃業者に対する市内での汲み取り及び清掃活動を許可する。 ・有明広域行政事務組合が管理する第1衛生センターに関する負担金を組合に支払う。(岱明・横島・天水分のし尿・浄化槽汚泥を搬入)	【15】 事務事業を構成する細事業(5)本 ⇒ ① 水の守運転管理業務 ② 公衆便所管理業務 ③ 一般廃棄物処理(し尿)・浄化槽清掃許可業務

《事務事業実施に係るコスト》

		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0
		受益者負担	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	153,021	151,687	155,885	169,880
		【16】 小 計	153,021	151,687	155,885	169,880
		[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	0	0	0	0
	職人 員 件 の 費	職員人工数	0.20	0.02	0.17	0.17
		職員の年間平均給与額(千円)	5,871	5,925	5,925	5,925
		【17】 小 計	1,174	119	1,007	1,007
合 計		154,195	151,806	156,892	170,887	

《事務事業の手段と活動指標》 【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H27実績	H28実績	H29実績	H30計画
① 水の守運転管理業務	委託業者により水の守の運転管理を行う。	受入日数	日	296	295	295	295
② 公衆便所管理業務	委託業者により公衆便所の清掃管理を行う。	清掃回数(4力所延べ回数)	回	520	520	520	520
③ 一般廃棄物処理(し尿)・浄化槽清掃業許可業務	一般廃棄物処理業者・浄化槽清掃業者の許可を行う。	許可件数	件	4	0	4	0

《コスト評価による年度比較》 【19】

コスト評価		H27年度決算	H28年度決算	H29年度決算	H30年度予算		
	対象(市民)	68060	67577	67242	66850		
投入コスト合計(千円)	154,195	151,806	156,892	170,887			
対象1単位あたりのコスト(千円)	2	2	2	3			
コスト評価(対前年比)	***	100.85%	(↑)	96.28%	(↓)	91.27%	(↓)

《事務事業の成果》 【20】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H27目標	H28目標	H29目標	H30目標
			H27実績	H28実績	H29実績	
1 し尿・浄化槽汚泥処理量	し尿・浄化槽汚泥の搬入量	m ³	—	—	15700	15690
2			15533	15691	15690	

* 成果未達成時の理由 し尿・浄化槽汚泥の搬入量については、市民生活に密接しており、地域ごとの人口やし尿汲み取りから浄化槽に移行する世帯等、各家庭の処理方式によって左右される。今回の目標の未達成については許容範囲であるとする。

《事務事業の評価》

	評価の視点	評価結果
妥当性 【21】	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 市が事業へ関与する必要がある <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 利用者、対象者の減少など、市民ニーズの低下傾向がみられる <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない	妥当性評価 a 高い b やや高い c やや低い d 低い b
	効率性 【22】	<input type="checkbox"/> コスト評価の対前年度比は、前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 直近2年で、コスト削減の努力・または検討はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 民間など、他の実施主体を活用し、成果を維持したまま事業費等の削減が可能である <input type="checkbox"/> 電子化等の事務改善、契約や人員の見直し、市の負担(補助)割合を下げること等により、コスト削減の余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
有効性 【23】		<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標を設定している <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値を達成した <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 手段を工夫することで、さらに成果を向上させることができる <input type="checkbox"/> 法定事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業には地域住民、NPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 国/県/民間が行っている事業と重複、または、他の部等に類似・重複した事務事業があるため、事業内容を見直す余地がある
	公平性	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある ⇒ <input type="checkbox"/> 金額が妥当 <input type="checkbox"/> 金額が高すぎる、または安すぎる <input type="checkbox"/> 負担率【 0.00 %】 <input type="checkbox"/> 受益者負担が無い ⇒ <input type="checkbox"/> 設定できる <input type="checkbox"/> 設定できない理由() 【24】

《前回からのふりかえり結果と今後の方向性》

前回のふりかえりに対して見直し・改善状況 【25】	特になし。		
今後の方向性 【26】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小して継続 <input type="checkbox"/> 執行方法の改善 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	総合判定	C
今後の方向性に対する見直し・改善の具体的内容	・水の守については、供用開始から6年が経過し機械設備等の消耗品取替などが発生し始めているが、計画的にメンテナンスを行い適正な維持管理に努める。 ・公衆便所については、現状、市民が使用しやすい状態にあるので良好な状態で維持管理を行う。		

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【27】	し尿及び浄化槽汚泥処理は、法で定められた市の責務であり、地域の衛生・水環境を守るため今後も継続すべき事業である。	評価責任者 平川伸治
-------------------	--	---------------